

令和6年3月15日

保護者のみなさま

桑野小学校長 熊山 剛

令和5年度 学校評価に関するアンケート結果について

日一日と春らしい季節に近づいている今日この頃、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日お願いいたしました「学校評価に関するアンケート」の児童及び保護者の集計結果をお知らせいたします。なお、学校ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。ご協力ありがとうございました。

学校では、児童・保護者からのアンケート調査結果をもとに、今年度の教育活動を振り返り、来年度のよりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも本校教育推進のため、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

評価結果より

児童・保護者のアンケート結果から次のように考えました。なお、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」を肯定的な回答とし、それが概ね85%を上回ればその項目は達成しているとしてしました。

(児童アンケート)

★達成しなかった項目

○『4 毎日の授業で、分かったことを話したり、書いたりすることができる』 81.9%

昨年度に比べて3.1%低下している。毎日の授業での学びを生活の中で生かすことは大切である。基礎・基本を大切にしながらも日常生活で生かすことができるよう、今後ともより主体的で分かりやすい授業改善や児童一人一人に応じた取り組み、支援等に力を入れていきたい。

○『5 わたしは、計算や漢字・文を書く力・話す力がついてきている』 81.3%

書く力や話す力をつけるため、毎日のドリル的学習やグループ学習を生かした対話的な授業、10分間の「つぼみっ子タイム」(主に視写学習)を行っている。しかし、昨年度に比べ6.7%低下していることは、今までの取組の見直しを行い授業改善等を図るとともに家庭とも連携し、より良い改善策を講じていく必要がある。具体的には、1人1台のタブレットを生かした対話的な授業を年間を通して推進したい。

○『6 私は、学校や家で進んで本を読むことができている』 67.5%

昨年度と比較すると2.0%向上している。今年度は、毎月第2土曜日を「家庭読書の日」と定め、学校だけでなく、家庭でも読書をする取組を始めた。今後は更に各学級や委員会等で読書の呼びかけを行ったり、読み聞かせ等の活動を行ったりしていく。毎年課題に挙げられる項目で、習慣化が難しい状況であるが、これまでの取組を粘り強く継続しながら、家庭との連携や子どもたちの発想を生かした読書の普及に努めたい。

(保護者アンケート)

★達成しなかった項目

○『1 「自分で考え、判断し、行動する児童」に育ちつつある』 84.8%

○『9 子どもは家で進んで読書することができる』 53.4%

○『16 家庭では、子どもが自分で学校の支度をし、忘れ物をしないようにしている』 77.4%

保護者アンケートでは、『1』『9』『16』が達成されなかった。各項目とも、昨年度より改善されつつあるが、更に次年度の最重点項目として取り組み、成果が上がるように努めたい。

教育は学校だけでできるものではありません。家庭と学校が連携を密にして、子どもたちの教育に当たっていくことで効果が上がるものと考えております。いただいた評価をもとに、少しでもより良き方向に向かって進んでいけるよう努力して参りたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。